

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
人力飛行機の機体展示と飛行機教室
実施日
機体展示：令和 6 年 11 月 2 日（土）～ 令和 6 年 11 月 3 日（日） 10:00～16:00 飛行機教室：令和 6 年 11 月 2 日（土）～ 令和 6 年 11 月 3 日（日） 13:00～16:00
機体展示：東体育館 バルサ飛行機教室：E6 棟製図室
企画代表者の氏名、所属
氏名： 上なつみ 所属：工学部 第一類
構成員の氏名
上なつみ 野中大雅 小野頼可 中井希 土居正虎 杉山千怜 内田光祐 坂本寛樹 堀田至保 田村健晋 中西慎 匂坂太紀 岡怜也 藤原孝成 新宮瑛人 藤田海希 上中翼 山本勇希 山田虹輝 高橋由衣
指導的立場の教員氏名 ※報告内容をご確認の上、ご署名または記名・押印をお願いします。
岩下英嗣 
企画の目的及び内容
大学祭にて機体の展示を行うことによって一般の方々に人力飛行機の魅力を伝えるとともに人力飛行機の詳細な構造や我々の製作活動について知ってもらう。また、子供を対象とした飛行機教室を行う。飛行機教室では実際に飛行機を作ってもらうことで、ものづくりをすることの楽しさを味わい、ものづくりに興味・関心を持ってもらうことが期待される。この企画は学内だけでなく学外の多くの方にも人力飛行機や HUES の活動について知ってもらうことができるため、広島大学工学部の広報に少なからず貢献できるものであると思われる。
来場者数
機体展示：181人 飛行機教室：3人
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
広島大学工学部人力飛行機設計・製作チーム HUES
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）
人力飛行機の機体展示 大学祭での機体展示に向けて、機体の改良、修復作業を行った。今回製作した飛行機は実際に飛行させるつもりのものであり、できるだけ完成形に近いものの展示を行った。大学祭当日は、東体育館を対角線方向に使用して機体を組み上げ、全機体の展示を行った。また、お越しいただいた方から、HUES の活動のことや鳥人間コンテストのことなどを質問していただいたことに対し、回答した。また、我々の活動を紹介するためのポスターを設置し、お越しいただいた方に人力飛行機や我々の活動について理解していただいた。機体展示の広報は SNS (X、instagram) を用いて行った。また、大学祭と同時に開催された広島大学創立 75+75 周年記念事業(工学部)の企画として大学発行のパンフレットにも掲載していただいた。
バルサ飛行機教室 飛行機教室を開催するために、バルサ飛行機の部品の準備を行った。準備はレーザーカッターを用いたバルサ材の切り出し、3D プリンターを用いた部品の作成、作業用マットや説明書の作成と印刷を行った。また、飛行機教室の広報は HUES の SNS (X、instagram) を用いて行った。飛行機教室当日は2日間で3人の参加があった。参加いただいた人数が少なかったため丁寧に教えながらバルサ飛行機の製作を進めることができた。

（裏面に続く）

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

アンケートは実施していない

成果・課題

【成果】

機体展示では人力飛行機のスケールの大きさや詳細な構造を示すことができた。また、人力飛行機やチームの活動内容について知っていただくことができた。

来場して下さった方々の中には毎年来てくださっている方がいらっしゃいます。また、「人力飛行機の製作活動をやってみたい」「HUESで製作した飛行機が大会で飛行するのを見てみたい」といった声をきくことができた。来場者の方とコミュニケーションをとり、質問への回答をしたり、逆に、飛行機やモノづくりに関わることを教えていただくこともあり、より実用的なことを教えていただく場面もあった。

飛行機教室では参加していただいた方々には楽しみながら製作活動を行っていただき、全員しっかり飛ぶ飛行機の製作を行うことが出来ていた。また、今回は昨年度開催した際に来ていただいた方が「昨年はうまくできなかった」からと言ってリベンジで製作をしに来てくださいました。昨年の反省を生かし製作をしている姿、どうすればより長く飛ぶか模索する姿が見受けられた。

【課題】

広報活動をあまり積極的に行えず、SNSを用いた発信にとどまっていたために機体展示、飛行機教室ともに例年より来場者数が少なかった。例年はチラシなどを小学校や施設等へ配布し、広報活動を行っていたため来年度以降は再開しようと考えている。また、体育館で機体展示を行っているが、体育館の外から見て飛行機の展示を行っているのが分かりにくく、中に入りにくい状況だった。看板等を設置し、外からでも飛行機の展示を行っていることが分かりやすいようにすれば、お越しいただく方が増えると思われる。来年度以降開催する場合は改善したい。また、バルサ飛行機教室に関しては、アロンアルファを用いて接着する工程が多くある。小学生の参加を想定して行っている活動であるが、手にアロンアルファをつけてしまう方がいて、また、すぐには落とすことが出来ないことが問題点として挙げられる。アロンアルファのはがし液やお湯を用意し、アロンアルファを落とすことができるようにするべきだと思われる。また、アロンアルファの使用量も多くなってしまい、コストもかなりかかってしまっていることも課題である。

実施風景（写真）



図1：機体展示の様子



図2：バルサ飛行機教室の様子

【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)